

2025.9.19^{会期中無休}金→10.19^日

江戸時代末期から明治初期に
流行した浮世絵140点を展示

幕末明治の浮世絵百年

大江戸の賑わい



【開館時間】 10:00～18:00(入館は17:30まで)

【観覧料】 一般800円、65歳以上400円、高校生以下、
障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者1名は無料

【主催】 (公財) 廿日市市芸術文化振興事業団、中国新聞社 【後援】 廿日市市、廿日市市教育委員会
【監修】 中右瑛(国際浮世絵学会常任理事) 【企画協力】 E.M.I. ネットワーク

はつがいち美術ギャラリー

〒738-0023 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
(廿日市役所・はつがいち文化ホールウッドワンさくらひあに併設)
TEL0829-20-0222 FAX0829-32-7160

検索 [はつがいち美術ギャラリー](#) Q

図版(いずれも部分): (上) 葛飾北斎「諸国名橋奇覧 すほうの国さんたいはいし」天保4-5年 (下) 榊洲周延「歐洲管絃奏合奏之図」明治22年

幕末明治の浮世絵百年

大江戸の賑わい

江戸時代に生まれた浮世絵は、歌舞伎役者やファッション、名所の風景など時局の流行を伝達する情報媒体として普及し、大衆の趣味や嗜好を反映した人情味豊かな作品が数多く制作されました。また木版画の特質を活かした斬新な画面構成や鮮やかな色彩表現は、印象派をはじめとする西洋美術にも影響を与え、今日でも日本独自の芸術として高く評価されています。

本展では、広重や北斎の風景画、豊国の美人画をはじめ、国貞や国芳による役者絵や武者絵から清親の光線画まで、町人文化が栄えた江戸末期から文明開化に沸く明治初期までの約100年間に描かれた浮世絵を紹介します。映画やテレビましてやインターネットも無かった時代に、黒船来航や文明開化の様子を人々に伝えた浮世絵は、当時の風俗を今に伝える貴重な史料でもあります。科学が進歩してもまねができない絵師たちの豊かなイマジネーションで生み出された、バラエティー豊かな浮世絵をお楽しみください。



1



2



3



4



- [1] 月岡芳年《羅城門渡邊綱鬼腕斬之図》明治21年
- [2] 歌川広重《江戸名所四季の眺 高輪月の景》弘化4-嘉永5年
- [3] 小林清親《日本橋夜》明治14年
- [4] 歌川芳年《高縄鉄道之図》明治4年
- [5] 歌川国芳《山海日出たい図会くせが直したい》嘉永5年

次回展覧会のご案内

第62回 甘日市市美術展

2025年10月22日(水)～11月2日(日)

交通案内

- 広電宮島線「甘日市市役所前(平良)」駅から徒歩7分
- JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩15分

いしかわ美術ギャラリー

〒738-0023 広島県甘日市市下平良一丁目11番1号
(甘日市市役所・はつかいち文化ホールウッドワンさくらびあに併設)
TEL0829-20-0222 FAX0829-32-7160

SNS配信中! フォロワー大募集!



5